

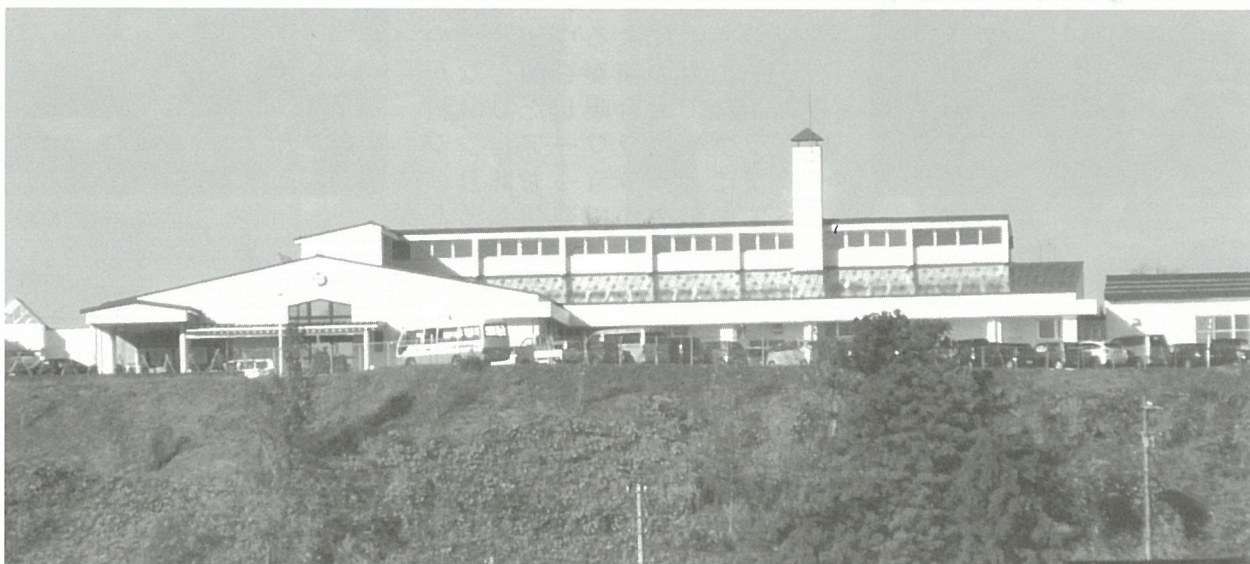


第113号

発行

社会福祉法人恵風会・あざみ園・あざみ園保護者会

〒930-2102 富山市山田宿坊1-8 / TEL (076) 457-2301 / FAX (076) 457-2303  
http://www.knei.jp/~azamien/ E-mail azamien@knei.jp



# 平成三十八年 年頭ご挨拶

園長 館谷明彦



新年あけましておめでとうございます。  
皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

現在、恵風会は障害者総合支援法における事業体系に移行し、障害者支援施設あざみ園、就労継続支援B型事業所「どんぐり工房」、共同生活援助事業所「赤田ホーム」・「羽根の家」、相談支援事業所「あざみ」、富山市生活介護事業所「第1あすなろ」・「第2あすなろ」、富山市婦中生活介護事業所「つつじ」・多機能型事業所「このみ」を開設しております。

障害者支援施設あざみ園の園舎は、開設から28年が経過しており、平成23年度に園舎内部の大規模修繕・居室改善等の整備が行われましたが、園舎の外壁は汚れや劣化が著しく、屋根は金属板と下地防水材の損傷が進んでいた為、平成26年9月に公益財団法人JKA（競輪・オートレース振興法人）補助事業に要望書を申請し、平成27年6月1日に補助金交付決定を受けました。

恵風会役員会の承認を得て、平成27年7月10日に入札を実施し、7月17日に工事着手し、12月1日に工事完了検査をおこない、12月25日に引き渡しを受けました。これも、ひとえに財政困難なおり、公益財団法人JKAの多大なるご支援があつたのと、役員一同感謝申し上げます。

園舎の外壁は、開設当時の白亜の館になり、屋根も開園当時の赤い屋根に一新されました。併せてやまぶき寮スロープ新設とかたくり寮プレイルーム床カーペットの改修も行われました。

この園舎外壁等補修工事をもって、施設整備は一段落すると思われませんが、ハード面の整備に目処がつけば、次はソフト面の充実が肝要であります。

利用者の皆さんに、より質の高いサービスを提供するためにも、一歩一歩前進していかなければならないと思っております。

本年も、保護者の方々や、利用者の皆さん、職員の皆さんと共に、夢と希望が実現できる新しいあざみ園を築いてまいりたいと考えておりますので、皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。




H27.12.22

# クリスマス会

食事会ではボリュームたっぷりのオードブルとサンドイッチなどお腹いっぱい食べました。

レクリエーションでは鹿熊千賀子さんによるヴィオラやハーモニカの演奏を聞きながらみんなで大合唱したり、料理クラブやフラワーアレンジクラブによるショーもあり、とっても賑やかで楽しかったです。

最後には、ケーキを食べながらサンタさんにプレゼントをもらって笑顔に包まれた1日でした。




H27.11.23

# ゆめの森収穫祭

ゆうゆう館敷地内にてゆめの森収穫祭が開催されました。

天気予報では雨が降るとの予報でしたが、当日は快晴でお客さんもたくさん来場されました。

あざみ園からはパンやクッキー、体験農園のY・Yネットでは石焼イモや喫茶コーナー、木工クラブコーナー、バザーに苔玉を販売。みなさんお買い上げありがとうございました。



ゆめの森ほかほかの石焼芋いかがですか〜



H27.12.25

# もちつき大会

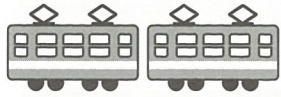


皆さんお楽しみのもちつき大会が今年も行われました！

希望者の皆さんについてもらい、その後おいしく頂きました。

自分でついたもちの味は格別でしたね！





# ゆとりの時間



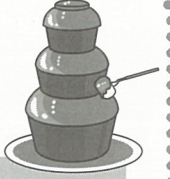
## 電車に乗ろう H27.11.27

高山本線に乗って富山駅まで行きました。  
 天候は雨でしたが、電車に乗ったら関係なし！みんな駅のホームではウキウキしながら電車を待っていました。電車からの風景を眺めたり、おいしい昼食を食べに行き、楽しい時間を送ることができました。



H27.12.8

## スイーツ食べ放題



ファボーレのビュッフェ菜の香にやってきました。  
 目的はもちろん、色とりどりのデザートや温かい食事。料理にデザート、ジュースも全て食べ放題、飲み放題。全て食べ切れるかな！？



チョコレートフォンデュ楽しいな♪



何を食べようか迷っちゃうな～



H27.12.3、12.17

## 温泉



12月3日と17日に男女でわかれて、ゆうゆう館へ温泉に入りに行ってきました。  
 雪もちらつき寒くなってきた時期でしたが、ゆったりゆったり心も身体も温まってきました。



# 自治会だより

H27.11.24

## 中村則子さんお別れ会



11月24日に退園される中村則子さんのお別れ会をしました。

みんな、則子さんとの思い出を振り返りながら別れを惜しんでいました。

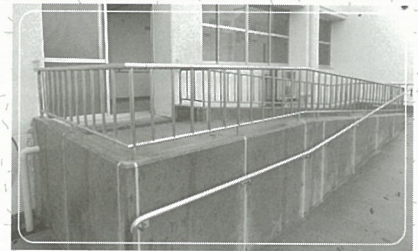
則子さん、これからも元気でいてくださいね！

## かたくりプレールーム・スロープ改修工事



かたくり寮プレールームが青色の新しいカーペットになりました！

やまぶき寮非常口からの段差が解消され、スロープが新しく設置されました。



H28.1.1、2、3

## 2016年申年 正月三が日



元日に宿坊神社へ初詣に行ってきました。「今年も一年よろしくお願ひします！！」

カルタ大会や書き初めもして、あざみ園で過ごした皆さんもお正月気分を満喫しました。

2016年も健康で幸多い年となりますように！！



## 行事のご案内

### 2月の行事

- ・ 7日…来園日
- ・ 23日…社会見学(みずほ寮)

### 3月の行事

- ・ 1日…社会見学(かたくり寮)
- ・ 2日…社会見学(やまぶき寮)
- ・ 6日…来園日
- ・ 8日…ゆとりの時間(カラオケ)

### 4月の行事

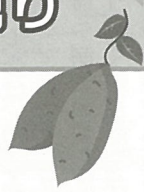
- ・ 3日…来園日

# 八尾保育所芋掘り

H27.10.28

ゆうゆう館敷地内、体験農園にて八尾保育所のみんなと一緒に、春に植えたさつまいもを掘りました。

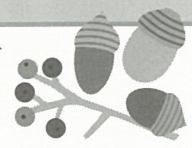
掘ったさつまいもはボランティア団体東北AIDさん経由で東北に届けられました。



# クリーン・ザ・アース

H27.11.6

あざみ園畑、畑裏の山道にて山田小学校1、2年生のみんなと一緒に、さつまいも掘りや木の実集めを行いました。取った木の実を福島の幼稚園に送りました。



こんなに取れたよ！！



あざみ園のさつまいも掘りもしたよ



福島に届けるどんぐりも頂きました

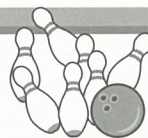


葉っぱの下にどんぐりみつけた☆

# 「赤田ホーム」ニュース

H27.11.15

## ボウリング大会



11月15日に富山市グループホーム連絡協議会主催のボウリング大会に、4名の利用者が参加されました。

久しぶりのボウリングに皆、戸惑いながらもそれぞれゲームを楽しんでおられました。

◆ 今後は12月20日に育成会主催の忘年会に、参加することが楽しみになっています。

◆ 4名とも風邪をひかずに元気に毎日仕事へ行っておられます。



# 「羽根の家」ニュース

H27.11.23

## ハッピーランチタイム「牛丼作り」

11月23日に羽根の家C棟にて牛丼作りを行いました。今回は男性利用者を中心に行いました。材料の玉ねぎの皮を剥いたり、糸こんにゃくを水洗いし鍋に入れ、火加減を見ながら、灰汁を取ったりと、それぞれ分担しな

◇ がら行いました。玉ねぎ切りでは「目が痛い、うまく切れない」など悪戦苦闘しながら取り組んでいました。味付けは職員の方で行い、◇ どんぶりに盛り付けされた牛丼を皆満足そう◇ な表情で食べておられました。

# 職員研修参加報告

「第53回全国知的障害福祉関係職員  
研究大会 高知大会」に参加して

支援課主査 北滝めぐみ

平成27年10月14日～16日、高知県立県民文化ホールにおいて、「第53回全国知的障害福祉関係職員研究大会 高知大会」が開催されました。

この国はどこに行こうとしているのか。大会は、坂本竜馬のモノローグからドラマチックにスタートしました。法律や制度の変化に翻弄された時期をようやく過ぎた現在、先人の熱意や理念に今一度立ち返り、本来の福祉とは何なのか原点に立ち返ろう。そして「未来に引き継がなければならぬ大切なもの」に焦点を当てようとする大会は、勤続20年の節目で参加させていただいた自分にとっても、初心に戻り今後を考えるうえでとても意義深い3日間でした。特に鼎談では、日本の福祉はどのような特色を持つものであり、現在のどのような特徴が生じているか、今後どうあるべきなのかについての討論があり、深く考えさせられる内容でした。

分科会のテーマの設定も、サービスの名前をそのまま冠した無機質なタイトルではなく、あくまでも人が生きる上での様々な側面に視点を当てたもので、坂本竜馬が幕末に起草した新国家体制の基本方針「船中八策」にかけ、「育」「生」「暮」「働」「老」「輝」が「土佐の六策」として設定されていました。参加者は七策として「学んだこと」、

八策として「考えたこと」をそれぞれにプラスして持ち帰り、それぞれの地で花開かせてほしいという願いが込められています。私が参加した第三分科会「暮る自分らしく生きるために」の中心のテーマは、「利用者が生き生きと暮らすため、我々支援者は何を行うべきか」というもので、本人の意思決定支援をきちんと行い、一人一人の生き方に価値を見出していくことの大切さを改めて強く感じました。

「『しあわせなら手をたたこう』：すべての障害者がこの歌を歌って手をたたけるように。虐待が上がってくる中で「報酬を上げて」はあり得ない。研修に参加して高い知識を得て支援力を高め、虐待を根絶してほしい。支援は上下の関係ではない、前後左右の四方からしていくものだ。」印象的だった橋会長の言葉です。福祉協会も相談支援専門員協会も、トップを務める人たちはみな熱い。人間の尊厳を心から信じていることが伝わってきます。福祉を支えるのは人であり、施設が持つ最大の資源はマンパワーだと言われています。これまで培ってきた利用者支援のノウハウや精神性に加え、個人、組織全体で支援力の向上を図っていくことが一層求められてきます。自分も先人に続き、日々の業務の中で目的意識や権利擁護感覚を明確にし、研鑽に努めていきたいと思います。



平成27年度 社会福祉法人恵風会  
あざみ園虐待防止研修

あざみ園権利擁護委員会



平成27年12月5日（土）、恵風会職員、恵風会第三者委員を対象に、今年度の虐待防止研修を行いました。講師として、国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

より、事業企画局研究部研究課研究員 信原和典氏と、施設事業局生活支援部生活支援課かわせみ寮生活支援員 田口崇文氏をお招きし、「強度行動障害についての理解と支援方法」を学んでいます。

あざみ園では平成24年に虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修を続けてきました。それ以前にも研修は行ってきましたが、委員会として課題や目的を検討し、明確化しながらの継続的な取り組みは今年が4回目、今年度は委員会の名称も権利擁護委員会に変えました。これまでの法人研修で、虐待についての基本的な考え方や職員のあるべき姿について学んできたことを受けて、今年の課題としたのは、組織としての支援力の向上でした。

支援が困難な人たちほど、また職員側の要因としては対応に苦慮して気持ちに余裕がなくなるときのほど、虐待のリスクは高まります。そこに必要なのは、これまでの経験則や思想信条に則った臨機応変の対応ではなく、実直にチームプレイに徹することです。「構造化された環境の中で 医療と連携しながら リラックスできる強い刺激を避

けた環境で 一貫した対応をできるチームを作り 自尊心を持ちひとりできる活動を増やし 地域で継続的に生活できる体制づくりを進める」この基本的な支援の枠組みを、実直に地道に続けていく体力と熱意が重要です。

平成26年から各異規模で、強度行動障害支援者養成研修もスタートしました。強度行動障害者支援の重要性と固有の障害特性に関する知識を学ぶのが基礎研修の目的ですが、事業所からこの研修に参加できるのはごく少数です。それならば講師を招いて、法人全体で一気はこの研修のエッセンスを学ぼうというのが今年度の狙いで、本来2日間で行われる内容を約5時間に凝縮したプログラムを依頼しました。

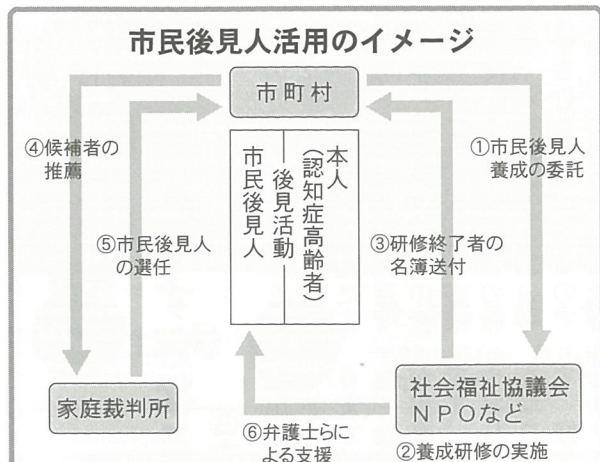
障害者虐待防止法が施行され、権利擁護が問われ続けてきてもなお、虐待の報道は後を絶ちません。強度行動障害のあるなしに限らず、利用者支援への悩みには共通するものがあり、目指す支援の方向性も同じです。今回の研修で学んだことを、「それではあざみ園ではどのようにしたら実現できるのだろうか」と検討し続けることに、今回の研修の意義は問われてくるのではないかと思います。

様々な生活上の困難さや生き辛さを持つ利用者が安心した生活を送れない状況では、障害者の権利擁護や差別解消に向けての文化醸成はありえません。

「忘れない」「見失わない」ことを目標に、今後も権利擁護についての課題を発信し、継続的な委員会活動を続けていきたいと思います。



小矢部のNPO法人



成年後見人制度

認知症など判断能力が不十分な人の財産管理や法律行為を代行する制度。介護保険制度導入と同時に、2000年4月にスタートした。県内の申し立て件数は、00年は66件だったが、ここ数年は300~400件程度で推移している。一方、手続きの煩雑さや費用負担の重さから、後見人が必要でも利用していないケースは依然多いと見られる。

市民後見人養成へ

あざみ園保護者 K・W

成年後見人制度に第二回に参加  
 ・場所：サンシップとやま7階  
 ・日時：平成二十七年十二月十二日  
 ・講師：NPO法人となみ地域障害者  
 成年後見福祉会 尾崎順子氏

富山県手をつなぐ 育成会研修会

保護者会コーナー

・国モデル事業人材不足に対応  
 支える仕組み必要県内では富山  
 市社会福祉協議会が先駆けとなり  
 二〇〇八年度から三年間市民後見  
 人の養成講座を行ってきたが、昨  
 年度で打ち切った。

・富山市社協は当初口座修了者の  
 うち希望者を「市民後見人バンク」  
 に登録し、適任者を家裁に推薦す  
 る構想を描いていた。三年間で登  
 録希望者は約六十人に上ったが、  
 肝心のバンクは市などの公的支援  
 もなく今も設立されないまま。

認知症高齢者や知的障害者の権  
 利や財産を守る  
 活動を広げ  
 る。

成年後見人 制度研修会 第一回の 概要

1. 本人のライフステージを考える
2. わが子に後見は必要か
3. 後見制度のあらまし

4. 後見申立手続と費用
5. 誰が申し立てるのか
6. 誰が後見人になるのか
7. あなたの後見人適性度
8. 知的障害者にとっての後見
9. 親が元気なうちにやるべきこと

市町村長へ

- ◆申し立て費用
- ・収入印紙三千四百円、切手三千六百円
- ・鑑定費用五万円
- ・その他

わが子には後見が必要か  
 後見の申し立てができるのは  
 本人・配偶者・四親等以内の親族  
 子供が三十五才で後見を考える  
 保護者が面倒を見ていける時期  
 面倒を見られない時期  
 ・親が子の出生時三十才で親が六十才  
 子供が三十五才で後見を考える

・市内では23人後見人がいる  
 ◆成年後見人の担い手の確保  
 第三者後見人 NPO法人  
 市民  
 成年後見人が付いていても選挙  
 に行ける。

・本人が知的障害の時  
 ↓知的審査で市役所で認める  
 ・本人が認知症の時  
 ↓認知審査で裁判所で認める

成年後見人の制度に入ると本人  
 のお金がなくならないか心配。一  
 カ月いくらか出費にかかるか。わか  
 らない。高齢になっても健康に暮  
 らしてほしい。



つ★ら★ム

息子があざみ園に入所し、はや30  
 年。成人式を始め、様々な行事の  
 素敵な思い出が沢山あります。  
 当初トラブルもありましたが、今  
 はもう見違えるほど落ち着き、ち  
 よつとほつとしていきます。  
 親子ともども高齢になり、これか  
 らは特に健康に気を付けて行きた  
 いと思っています。

制度も色々変わりますので、こ  
 れから少しずつ学んでいきたいと  
 思っております。

S・S

# 職員ページ

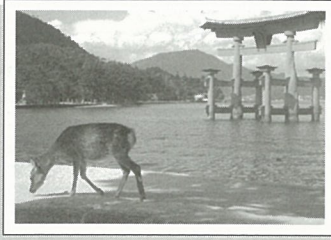
## 私の好きなこと

谷本 静香 支援員編

私の好きなことはたくさんあります。一つは旅行で、写真やテレビでしか見たことのない景色を自分の目で見て歩くことや、現地の食事や方言に触れることが楽しみです。特に友達との旅行は、羽を伸ばして思い切り楽しむことが出来るので大好きです。二つ目は読書です。とは言っても、難しい本はなかなか読めないのですが、軽い小説や漫画などですが、ひとりの時間を静かに過ごすことも好きなので、本の世界へ没頭できる時間はとても大切です。三つめは、音楽を聴くことです。いいな、と思えばジャンルを問わずに何でも聞くのですが、その時の気分に合わせて曲を選び、どんな時でも暇さえあれば音楽を流して過ごしています。好きなアーティストがいれば、

遠出をしてライブやコンサートを聴きに行くこともあります。CDとはまた違った、全身で音を楽しむことが出来る空間がとても好きです。他にもショッピングやおしゃれな小物など、好きなことはたくさんあります。好きなことをして気分をリフレッシュし、日々の仕事に気持ちよく取り組むことができるように、小さな好きも大切にしていきたいと思っています。その好きなことで、何か支援の一助となることはないかな、新しい好きなことを増やしながら考えていきたいと思っています。

その時の気分に合わせて曲を選び、どんな時でも暇さえあれば音楽を流して過ごしています。好きなアーティストがいれば、



今回は高柳指導員編です。お楽しみに!!

## あざみ園へ来園された皆さん

(平成27年11月〜平成28年1月)(敬称略)

- ・かたかご苑保護者会長 蔭島 章 他10名
- ・日本海建興(株)社長 灰谷久登 他3名
- ・(株)鈴木一級建築士事務所 代表取締役 金山泰夫 他1名
- ・(株)北陸バロン美装社長 浅野雅史 他3名
- ・富山地鉄サービスマン 黒部支店長代理 田中俊之

## 善意の心

### ありがとうございます

(平成27年11月〜平成28年1月)(敬称略)

- ・かたかご苑保護者会 本多重治
- ・富山県善意銀行
- ・富山県「北日本放送」 社会福祉事業基金
- ・金岡紘子

## 新規採用職員

・菊 俊幸

(支援課自立支援係生活支援員)

今年より、あざみ園で生活支援員として働くことになりました菊です。地元は新潟ですが、高校を卒業してから去年まで東京にいました。全く別の分野の仕事をしていましたが、生まれ育った富山の福祉に貢献したいと思い、社会福祉士の資格を取り帰ってきました。資格は取得したものの、経験がなく、皆さまのお役に立つには時間が掛かると思いますが、何卒、宜しくお願ひ申し上げます。



・高柳 雪美  
(支援課地域支援係職業指導員)

あざみ園どんぐり工房の生活支援員として働かせていただくことになりました高柳です。利用者様と協力し、おいしいパン、お菓子をたくさん作っていただきます。又、利用者様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



・二口 節子  
(支援課地域支援係職業指導員)

昨年10月より、どんぐり工房で働かせて頂くことになりました。緑に囲まれた工房で利用者の方々と職員の方々と一緒にパン作りに関われることをとても嬉しく、ありがたく思っています。これからも皆さんと一緒に楽しくパンを作っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

## ボランティアありがとうございます

(平成27年11月〜平成28年1月)(敬称略)

- ・関 由美子、澤村ひろみ、杉江まさみ、葛原 仁美(食品加工)
- ・道下 和美、中野 裕子(音楽療法)
- ・山本 明美(アクアクラブ)
- ・大瀬 春江、石田すみ子(手工芸クラブ)
- ・谷井美智子(手工芸クラブ、食品加工)
- ・日赤奉仕団(シーツ交換)
- ・大谷矢辰則(笑いヨガ)
- ・須田 裕子(健康リハビリ班)

## 実習生

- ・福祉レクリエーションワーカー資格取得のための現場実習  
平成27年11月18日・12月22日 女性1名
- ・施設実習Ⅰ  
平成27年11月9日〜11月20日 富山国際大学 女性2名

## 退所

・中村則子さん(11月24日付)

## 編集後記

今年の冬は暖冬ということ、あまり富山の冬らしくない日が続いていますね。油断せず、体調管理をして、2016年のスタートに風邪を引かないようにしていきたいです♪今年もよろしくお願ひします!





## 平成27年度JKA（競輪）補助事業完了のお知らせ

このたび公益財団法人JKAから、平成27年度競輪補助金の交付を受けて、以下の事業を完了いたしました。

ここに事業完了の報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様並び、工事車両の通行等においてご協力をいただきました地域の皆様に謹んで感謝の意を表します。

### 1. 事業名

平成27年度競輪・オートレースの補助事業により建築整備された障害者福祉施設の補修補助事業

### 2. 事業内容

障害者支援施設あざみ園外壁等補修工事

### 3. 補助金額

30,000,000円

### 4. 実施場所

富山県富山市山田宿坊1番地8

障害者支援施設 あざみ園

### 5. 完了年月日

平成27年12月25日

社会福祉法人 恵風会  
理事長 野尻 昭一

